



# 病診連携通信

## 第4号

公益財団法人  
湯浅報恩会  
寿泉堂綜合病院  
平成27年2月

### 乳がん治療のご案内

乳がんの解剖学的ひろがりとは逐次段階的(Halsted理論)にすすむのではなく、早期に全身へひろがること(Fisher理論)が明らかとなり、手術は縮小化が進んでいます。その後、乳房温存術の増加とともに、術後照射の需要が高まっています(連携通信1号)。乳がん領域では放射線は必須アイテムです(図1)。

さらに、解剖学的進展より細胞学的要素の比重が大きいことが確認され、手術と対照的に、多岐にわたる薬物療法もかかせません。初発時はもとより再発例においても柔軟な薬物、特に化学療法が要求されます。

当院では、あらゆる乳がん治療に対応できるよう、ハード・ソフト両面から、トモセラピー、外来化学療法室(図2)などの整備をし、さらに関連施設の寿泉堂クリニックにて、乳がん検診も受け入れております。乳腺外来に限らず、外科にご紹介下さいますようお願い申し上げます。(外科:中山浩一)



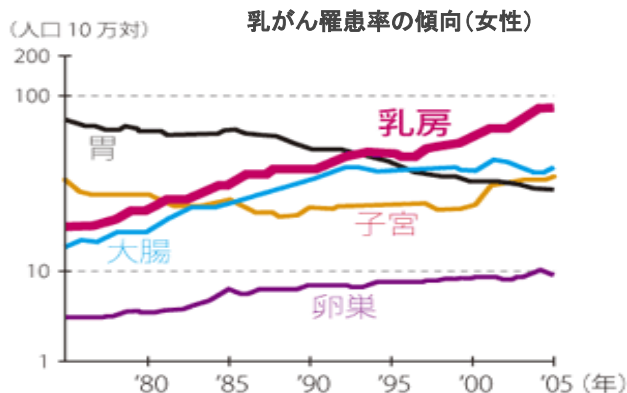
外来化学療法室(図2)



トモセラピー装置(図1)

### 乳がんは女性がんのトップです

乳がんの発生は、20歳過ぎから認められ30歳代ではさらに増え、40歳代から50歳代がピークです。



独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせは

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表)

をお願い致します。